

つながり

tsunagari

40

2025.3
Spring

月経異常からわかる子宮の病気
男性にも知ってほしい

特集



診療情報管理士

地域の医療機関のご紹介

当院は、皆さんにとって身近な医療機関と役割分担を図り、地域全体で切れ目のない医療を提供することを目指しています。こちらでは、当院の登録医療機関(かかりつけ医)をご紹介します。

石巻ロイヤル病院

〒987-1222
宮城県石巻市広瀬字焼巻2番地
TEL 0225-73-5888
<https://www.ishinomaki-loyal.jp>



診療内容

内科、リウマチ科、消化器内科
循環器内科、神経内科、整形外科
婦人科、外科、リハビリテーション科

受付時間

午前 8:30 ~ 11:30
午後 1:30 ~ 4:00

※診療科によって異なる場合があります。
詳細はホームページをご確認ください。

休診日

土曜、日曜、祝日

地域の皆さんへ

当院は、平成19年9月に旧公立深谷病院を事業継承し、訪問看護ステーションふかやと共に誕生いたしました。

開設当初は、一般病床42床でありましたが、平成26年10月に新棟完成によって、現在の許可病床は230床となりました。

なかでも、回復期リハビリテーション病棟は110床となっており、県内外から脳血管疾患や大腿骨骨折術後の紹介患者さんに対して積極的なリハビリを提供しております。

これからも地域の皆さまから信頼され、愛され、共にある、“石巻ロイヤル病院”となりますよう鋭意努力してまいります。



みんなのパタ崎さん

patasakisan



ついに大崎市民病院のシンボルマークが決定!!!
募集をしたら、なんと272件の応募があったパタ!
沢山の応募、本当にありがとう!!

このマークは患者さんと地域、そして大崎市民病院のイニシャル「O」に見立てているパタ。真ん中の葉っぱは、大崎市病院事業の6つの施設を表していて、色はオレンジを健康、緑は安心と信頼を意味しているよ!

みんなもこのマークを見たら、大崎市民病院のことを思い出してほしいパタ!

#大崎市民病院 #シンボルマーク



がん相談 Q & A

がん相談支援センターでは、患者さんやご家族から、さまざまな相談が寄せられます。ここでは、よくある相談の一部を紹介します。



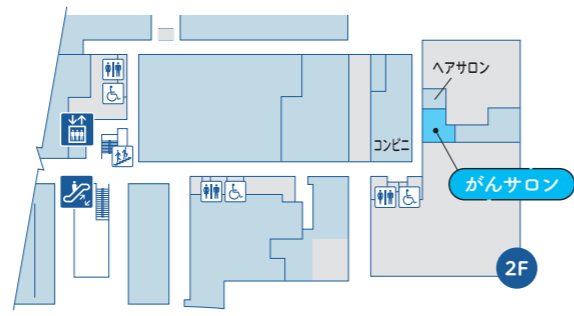
Q がんのことについて話せる人が身近に居ないので不安です。

A 本院のがんサロンでは、がん患者さんやご家族など、同じ体験をした仲間(ピア)が集まる「おしゃべりサロン」を定期的に開催しています。がんと診断された方であればわからない気持ちや、体験を共有することが、他では得られない支えとなることもあります。「誰かと話したい」「身近な情報が欲しい」…という方は、一人で悩まず、みんなで話をしてみませんか？

「おしゃべりサロン」の開催日以外でも、がんピアサポーター(がん体験者)の職員がお話を伺うこともできますので、サロンの予定や情報が知りたい方はウェブサイトをご覧ください。がん相談支援センターへお問い合わせください。

がんサロン開設時間
 月 10:00～14:00
 水・金 10:00～15:30
 (がん体験者(職員)が在室)

※開設時間は変更する場合がありますので、何卒ご了承ください。



大崎市民病院の先生をリレー形式でご紹介します！

Team "tsunagari" チーム つながり

Vol. 07

本院は43の診療科があり、現在常勤医師は151人所属しています。第7回は、血液内科科長の高橋太郎先生をご紹介します。普段は、皆さんの健康を守るために尽力している先生たちですが、実は意外な一面も…？

今年とれたナスと安納芋。最近のメダカはキラキラです

たかはし たろう
高橋 太郎 診療科長
診療科 血液内科
主な資格・認定 血液専門医 造血細胞移植認定医
趣味 家庭菜園・メダカの品種改良

県北～一関の血液の患者さんをガイドライン(知識)だけではなく経験値・新しい知見(智慧)で何とかよくできないか、皆とともに日々奮闘しています。家庭菜園していると野菜を育てる苦労を実感します。たまに育て方を教えていただきたいです。

次回は、感染管理部の井草 龍太郎先生です。

おおさき メディカルスポット

Vol.8 TQM推進室 (診療情報管理担当)

当院は、医師以外の職種のスタッフも、皆さんの健康のために医療を提供しています。今回はTQMセンター* TQM推進室の診療情報管理担当から、患者さんの診療記録の管理や、診療情報の分析を行う業務について紹介します。 *TQMセンター:医療の質改善の統括を行う部署

診療情報管理士は、患者さんの診療記録を適切に管理し、そこに含まれる情報を活用することで、患者さんの継続的な診療や医療従事者の研究・教育、更には医療の質向上を図り、その価値を最大限発揮させることができるよう職員一丸となりチーム医療を支えています。TQM推進室には現在5人の診療情報管理士がおり、それぞれの担当業務は幅広く、必要とする知識やスキルが異なるため、常に新しい知識を身に付けるべく研鑽を積み重ねています。診療記録の点検業務では、入院診療計画書や退院サマリー、手術記録などの診療記録がもれなく作成・記載されているかの確認を行っています。また、診療記録の質向上のため、医師や看護師などの多職種によるカルテ監査を実施し、医師へのフィードバックや院内周知を行っています。また、診療情報抽出業務では、院内で蓄積された多種多様な医療データを組み合わせ、実態把握や業

務改善のほか、施設認定・学会報告などさまざまな目的で活用される情報を作成しています。このような業務を行うには、診療報酬をはじめ、院内の各部門がどのようなデータを取り扱っているか把握すること、表計算ソフトなどのデータベースを活用するスキルも必要です。さらに本院は地域がん診療連携拠点病院の指定を受けているため、国立がん研究センターの認定を受けた実務者が院内がん登録を行っています。院内がん登録とは、がん診療の状況を把握するため、診断・治療されたすべてのがんに関する情報を登録・集計・分析・管理する仕組みです。がん登録を正確に行うことで、国や県のがん治療やがん対策の立案に活用されています。他にも、診療記録の開示請求の窓口になるなど、業務内容は多岐に渡っており、診療情報管理士は病院の円滑な運営と医療の質向上に欠かせない存在です。 *退院サマリー・入院経過や検査所見など入院中の治療内容を簡潔にまとめたもの。

多職種でのカルテ監査の様子

普段使用している参考図書